

長岡京市議会
議会改革特別委員会

調査研究報告書
《休日議会について》

令和6年9月25日

1. 調査研究項目及び手法

(1) 調査研究項目

休日議会について

(2) 調査研究項目の具体的内容

長岡京市議会では、議会改革として、これまでに様々な取り組みを進めてきたところであり、休日議会についても、議会運営委員会において検討を重ねてきた。

その後、令和3年10月に議会改革特別委員会が立ち上げられ、議長から議会運営委員会で検討を行っていた休日議会について、本委員会が検討を行うよう申し送られた。これを受け、本委員会では、長岡京市議会における休日議会の実施について、その可否や手法について論議するために、調査研究を進めたものである。

2. 委員名簿

議会改革特別委員会

委 員 長	中 小 路 貴 司
副 委 員 長	大 伴 壘
委 員	中 村 亮 太
委 員	川 口 良 江
委 員	福 島 和 人
委 員	広 垣 栄 治
委 員	三 木 常 照
委 員	上 村 真 造

3. 調査研究の実施経過（休日議会の協議のみ抜粋）

1	令和6年 6月21日	・休日議会について
2	令和6年 8月28日	・休日議会について
3	令和6年 9月25日	・休日議会について ・報告書（案）について

4. 調査研究のまとめ

令和6年6月から3回にわたって会議を開催し、長岡京市議会における「休日議会」について、意見交換を重ねた。

その中で、平成25年度からの本会議インターネット動画配信等へのアクセスが一定数あり、平日に議会を傍聴できない市民に対し、本会議及び委員会を見ることができる機会を提供できていること、また、職員の働き方の側面からも、休日議会の実施は不要との結論で全会一致したところである。

5. 委員から出された意見等

- ・市議会インターネット中継（ライブ配信及び録画映像）のアクセス数が伸びていることから、休日議会は必要ないと考える。
- ・理事者及び事務局の職員の負担軽減の視点からも、休日議会の実施は適当でない。
- ・現状、休日議会を実施してほしいという市民からの声は聞いていない。
- ・休日議会の需要があるのか不明である。
- ・休日議会ではなく、現在実施している「市民と議会の意見交換会」の回数を増やすことや、子ども議会の実施など、他の方法を検討してはどうか。
- ・土日に議会を実施することの費用対効果を見ていかなければならないのではないかと。
- ・他市からは、土日に議会を実施すると、最初の2、3度は傍聴者が来られるが、そこから段々人数が減って、最終的には来られなくなり、職員の負担のみが残ったという経過を聞いている。休日議会は実施しない方向で考えている。
- ・ライブ中継のアクセス数が、令和2年度から倍増しており、現在もまだ伸びている。もう休日議会の必要はないのではないかと。
- ・令和4年12月の綾部市議会の新聞報道のとおり、ネット環境の普及等により、休日議会については一定の役割を終えたものと考えている。